



GFDRR *Digest*

Global Facility for Disaster Reduction and Recovery
Administered by the World Bank

世界銀行・防災グローバルフォーラム 2024（UR2024）ダイジェスト

世界銀行（GFDRR・東京防災ハブ）は日本政府のご支援のもと、兵庫県庁、姫路市役所のご協力を得て、6月16日から21日まで兵庫県姫路市アクリエ姫路において「世界銀行・防災グローバルフォーラム 2024（UR2024）」を開催いたしました。

これまで2年に一度世界各国で開催されてきたURフォーラムですが、8回目を迎えた本フォーラムは、おかげさまで過去最多の参加者・セッション数となりました。関係者および参加者の皆様、ご出展いただいた各企業・団体のご支援にあらためて感謝申し上げます。

URフォーラムは世界の防災専門家・実務家が一堂に会して最新の知見を共有し、かつ横断的な連携を促進することがさらなる強靱化への取り組みに寄与するという考えのもとに開催されております。今回は特に、阪神淡路大震災30周年を前に災害に対する備えの重要性を再認識し、そして数多くの自然災害を経験してきた日本の防災に関する知見、施策を広く世界に発信することを重要な目的としました。

世界各国からの参加者によりフォーラムを通して行われた議論や知りえた知見が自国の強靱化促進のための政策策定や改革に役立てられることが期待されます。今後もフォローアップを継続し、人的ネットワークの構築と強化に努めてまいります。UR2024の開催事務局を務めた東京防災ハブから会議の様子をダイジェストでお届けいたします。

世界銀行防災グローバルファシリティ（GFDRR）プラクティスマネージャー
ニルス・ホルム・ニールセン



参加者・会合数、過去最多 世界的防災ネットワークによる知見共有の場に

UR2024では8つの全体会合と109の分科会・サイドイベント、135カ国から約1,700名の参加があり、これまで世界各地で2年に一度開催されてきたURフォーラムで過去最大規模となりました。日本からは29の企業・団体に出展いただき、活発な議論の場となりました。



松本剛明総務大臣及び同令夫人ご臨席

開会式には松本剛明総務大臣兼世界銀行国会議員連盟日本支部会長からビデオメッセージを頂戴し、一部イベントにもご臨席をいただきました。また、大臣夫人には文化遺産と防災をテーマとした公開シンポジウムと開会式にご臨席いただきました。



グアン・チェン副総裁、防災グローバルフォーラムで来日 世界銀行側代表

世界銀行インフラストラクチャー担当のグアン・チェン副総裁が来日し、開会式で世界銀行を代表して挨拶しました。チェン副総裁は世界銀行で強靱（レジリエント）なインフラ構築への世界規模の取組みを主導しています。松本剛明総務大臣をはじめ、日本政府関係者の皆様、そしてフォーラム開催にご協力いただいた関係者各位に感謝の意を表しました。



日本を代表する建築家の坂 茂氏、基調講演者として登壇 展示場のデザイン協力

開会式ではまた、国際的に災害支援用建築を手掛けてきた世界的建築家の坂 茂氏による基調講演がありました。また、展示ブースには、坂氏が代表を務める [VAN \(Voluntary Architects' Network \)](#) が災害時に被災者支援に用いる紙管を使った間仕切りシステム (Paper Partition System) が活用され、特設ブースでは災害時の使用例なども展示されました。

[🔗 : 会場の様子 \(VAN による Facebook ポスト\)](#)

[🔗 : 開会式 \(アーカイブ動画\)](#)



公開シンポジウム開催 城郭考古学者・千田嘉博教授ら専門家が意見交換

フォーラム初日の 6 月 16 日 (日) には、姫路市清元秀泰市長、城郭考古学者の千田嘉博教授、および世界銀行主任都市開発専門官アフメド・エイワイダの 3 名が、公開シンポジウム「文化遺産と自然災害～持続可能な未来にむけて、姫路の経験から学ぶ～」において、姫路城をはじめとした文化遺産をどのように自然災害から守り、修復し、持続可能な開発に役立てていくかについて、現状と課題を議論しました。500 名あまりの方々が参加されました。



太鼓演舞、書道、高校生による防災宣言 テーマ「伝統」と未来をつなぎ、開幕

開会式では他に、冒頭に姫路書道キッズによる書道パフォーマンス、また、姫路をはじめとした全国から 4 校の高校生による防災宣言が世界銀行副総裁に手渡されました。最後に陸上自衛隊姫路駐屯地「姫路白鷺太鼓」による力強い太鼓演舞により開会式が締めくくられました。

[🔗 : 開会式 \(アーカイブ動画\)](#)



会議の論点、全体会議への日本からのインプット

会期中に全体会議を 8 つ開催し、各テーマで世界を牽引する専門家に登壇いただきました。開催地の姫路市からは清元秀泰市長をお迎えし、円卓討議方式で都市災害への備えについて議論されました。また、兵庫県の齋藤元彦知事からは兵庫県の「創造的復興」への取組みなどが紹介されました。



日本と世界の自治体、経験・防災知見を共有

世界各国の市長や自治体で防災に携わる職員が来日し、自治体レベルでの強靱性の確立に向けたベストプラクティスが共有されました。各国市長による円卓会議では、姫路市清元 秀泰市長に姫路市の取組みを報告いただきました。また、石川県の馳浩知事から開会式において能登地震からの復興の取組みや UR フォーラムに対する期待をビデオメッセージでお話いただき、富山市 藤井 裕久市長や仙台市 郡 和子市長（ビデオメッセージ）、和歌山県すさみ町 岩田 勉町長にも分科会にそれぞれ参加いただき、日本を含む世界各国自治体の経験、知見共有の機会となりました。

[🔗 : 開会式（アーカイブ動画）](#)



ランチセッション開催 日本の防災と食における取組みを紹介

日本ハム株式会社と公益社団法人 日本栄養士会による「防災と食」をテーマにしたランチセッションが開催されました。災害時の栄養バランスの取れた食事の重要性などに関するパネルディスカッションや意見交換が行われ、参加者は実際の防災食や過去の震災時の活動写真なども視聴しました。

[🔗 : ランチセッション（アーカイブ配信）1](#)

[🔗 : ランチセッション（アーカイブ配信）2](#)



バーチャルリアリティ、起震車などの防災体験型・展示型プログラム

会場内には熊本地震をはじめとした過去の地震をそのまま再現する起震車や、災害支援車両も展示されたほか、大阪ガス株式会社によるデジタル地球儀も紹介されました。さらに、「ザブトン教授の防災教室」や仮想現実（VR）による体験型プログラムも特設され、参加者が直接防災の重要性を改めて認識する機会となりました。



日本の防災の知見や研究・技術、世界各国の専門家・実務家に伝える場に

全体会合や分科会、サイドイベントに加え、展示エクスポも開催しました。日本からの発信の為、防災研究機関をはじめ、政府機関、関連団体、教育機関からの発信の場として「ジャパン・パビリオン」を特設するとともに、防災関連企業も個別展示ブース参加をしました。日本から計 24 の展示参加があり、培われてきた防災技術や知見をグローバルに発信する場となり様々なネットワーキングが行われました。



兵庫県、姫路市、企業主催による防災スタディツアー

兵庫県および姫路市主催により、日本の防災・復興を学ぶスタディツアーが会議参加者向けに実施されました。参加者は地域やテーマごとに7つのツアーに分かれ、兵庫県内・姫路市内外のさまざまな防災施設、人とみらい防災センターや阪神淡路大震災関連体験型施設を訪問したほか、姫路城や播州織などの文化にも触れました。また、関西電力や大阪ガスの協力のもとそれぞれの施設を訪問し防災の取り組みについて学びました。

UR

Understanding Risk (UR) コミュニティのご紹介

UR コミュニティは 2010 年、災害リスクの評価と特定はセクター・業界横断的な取組みであるとの認識に基づいて発足しました。現在では、災害リスク情報の生成と伝達、活用に関心をもつ 1 万 5 千人の専門家や実務家で構成されたグローバルなコミュニティに成長しています。

🔗 : [公式ウェブサイト](#)



世界銀行東京防災ハブ (World Bank Tokyo DRM Hub) のご紹介

世界銀行東京防災ハブは 2011 年の東日本大震災・津波発災後、日本の防災に関わる教訓、知見を世界銀行が支援するプロジェクトを通して世界に共有することを主目的に、2014 年に設立されました。世界銀行の防災グローバル・ファシリティ (GFDRR) の活動拠点として、日本-世界銀行防災共同プログラムを実施しています。今回の防災グローバルフォーラム 2024 では開催事務局を務めました。

🔗 : [公式ウェブサイト](#)

後援

兵庫県／姫路市／内閣府（防災）／復興庁／外務省／財務省／国土交通省／防衛省／総務省消防庁

本メールに関するお問い合わせ・ご意見は、[drmhubbtokyo\[at\]worldbank.org](mailto:drmhubbtokyo@worldbank.org) までご連絡ください。

世界銀行東京防災ハブ (World Bank Tokyo DRM Hub)

ウェブサイト : <https://www.worldbank.org/ja/programs/tokyo-drm-hub>